

交野市教委ニュース

第117号 (令和元年9月6日発行)

『令和元年度 交野市教育フォーラム』①

令和元年7月31日(水)、ゆうゆうセンターにおいて「交野市教育フォーラム」を開催しました。今回の教育フォーラムの目的は、交野市の教職員と地域が新しい時代を切り拓く力を持つグローバルな人材の育成について理解を深めること、また言語能力を表現する実践の場である交野市英語プレゼンテーション大会を開催し、交野市の教育の推進を図ることにあります。教職員をはじめ保護者、地域の方等多くの参加者があり、充実した機会を持つことができました。

第一部では、京都女子大学教授 水戸部 修治 先生から「子どもの言語能力の育成をめざした授業づくりとは」というテーマで講演をしていただきました。

第二部では、交野市で昨年度開催の英語弁論大会から発展した英語プレゼンテーション大会を開催いたしました。以下、その様子をお伝えいたします。

【第Ⅰ部】 講演：京都女子大学教授 水戸部 修治 教授

「子どもの言語能力の育成をめざした授業づくりとは」



交野市では、プログラミング教育の推進・外国語教育の充実・言語活用力の向上を3本の学びの柱として、9年間を見通した教育を実践しています。その1つである言語活用力をどのように育成するかについて、小学校国語科の指導を中心に、他教科でも取り組める具体的な内容が学べる研修会となりました。

質の高い言語活動を充実させるためには、単元を通じて育成したい力を明確にして、単元全体のゴールを達成するために、どの授業でどのような交流が必要かを計画することが必要であると話されました。また、交流の目的が指導のねらいに合っているかなど、単元を見通した授業づくりの重要性についても話されました。

【第Ⅱ部】 英語プレゼンテーション大会

テーマは、「学校」交野市内の学校に在籍する小・中学生23名が出場しました。前半が小学生の部、後半が中学生の部で、審査は交野市ALT3名(サラ、ニコル、パトリック)と文教大学 金森教授で行いました。



23名の発表者たちは、2ヶ月の練習期間でプレゼン用の資料も作成しながら、短期間の練習に取り組みました。ジェスチャーや表情も意識しながら、伝えたいことをどのようにしたらより効果的に相手に届けることができるのかを試行錯誤を繰り返しながら練習を行いました。

計4回の練習会では、審査員以外のALT2名(アージュル、コニー)が参加し、英文の作成から発音、パフォーマンスの仕方など、たくさんのアドバイスをしてくれました。プレゼン後には質疑応答の時間もあり、即興で答えるため、これまでになく緊張をしましたが、堂々と自信を持って表現してくれました。